下都賀地区生涯学習研究会機関紙
ねっとわーく
Network
第56号
令和2年12月発行

前号の会長あいさつの中で、「『何もできない』と弱音をはきたくないと思いませんか？」というメッセージがありました。多くの学校において、新型コロナウイルス感染症により様々な制限がある中においても、感染防止対策をとりつつ、できる範囲で地域住民と連携しながらふれあい学習を展開しています。今号でも、ふれあい学習を展開する中で見ることができた心温まる場面を、写真と簡単な文章で紹介してまいります。

Smile お届け特別号

Snap Shot　～笑顔があふれたその瞬間～

Smile③「熱気球に夢をのせて」

下都賀地区生涯学習研究会　広報委員
野木町立南赤塚小学校　　教諭　　牛久　昌晃

野木町立南赤塚小学校では、毎年、４年生が熱気球試乗体験を行っています。この活動は、本校地域と関わりの深い、ある方のご尽力のおかげで実現し、本校の恒例の行事として定着してきました。その方とは、熱気球世界選手権優勝者の藤田雄大さん。なんと本校の卒業生なのです。子どもたちに熱気球の魅力を伝えるため、また４年生の理科の学習「空気のあたたまり方」と関連させ、体験を伴った理解のために行われています。

また、試乗体験だけでなく、世界を転戦されている藤田さんのお話を聞く場も設けています。キャリア教育の一環として、夢や希望を持つことの素晴らしさや、広い世界の様子、プロのアスリートとしての視点など、貴重なお話を聞かせていただいています。

写真は昨年までの活動の様子です。校舎を見下ろすほどの高さから、子どもたちの歓声が聞こえてきそうです。今年も子どもたちの笑顔と夢をのせて、熱気球が青空に向かって飛び立ちます。

Snap Shot　～笑顔があふれたその瞬間～

Smile④「子どもの笑顔を支える地域の力」

下都賀地区生涯学習研究会　広報委員
栃木市立部屋小学校　　教諭　　柏原　益志

本校では、多くの地域の方々に支えられて、教育活動の充実を図っています。その際、中心となって活躍いただいているお二人を紹介します。

コーディネーターの田熊光雄さんは、コロナ禍であるにもかかわらず、子どもたちのために見学可能なニラ農家を探してくれたり、部屋地区の歴史を語れる方を集め、自らも水害の歴史を語ってくれたりと、どんな時にも頼りになる方です。コーディネーターの田沼常宜さんは、スリランカの子どもたちに靴やランドセルを届けたいという本校児童の思いを実現させるため、スリランカの学校との架け橋となってくれた実行力抜群の方です。お二人は、学校運営協議会委員でもあり、学校、家庭、地域が一体となった「地域とともにある学校づくり」を推進していただいています。

他にも、多くの地域の方々にお世話になっています。４年生の「よしず作り」や「提灯作り」体験、５年生の「農業体験」、上学年への「民話語り」、全校児童に向けた「読み聞かせ」等々…。多くの方々に支えられた体験活動は、教育活動を豊かなものにすると共に、子どもたちの郷土を愛する心を育んでいます。

田熊さん

田沼さん